

令和4年度病害虫発生予察注意報第3号

令和4年7月15日
愛知県

作物名：水稻

病害虫名：斑点米カメムシ類（イネカメムシ、カスミカメ類）

- 1 発生地域 県内全域
- 2 予想発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

(1) 7月上旬の巡回調査における本田内の20回すくい取り調査（51地点101ほ場）で、イネカメムシの捕獲数は平均0.19頭（平年0.01頭、昨年0.05頭）と、過去10年と比較して最も多く、発生ほ場率は1.93%（平年0.86%、前年3.88%）と過去10年間と比較して2番目に高かった。

(2) 県内全域（弥富市、一宮市、名古屋市、西尾市、豊田市、新城市及び豊橋市）のほ場でイネカメムシの発生を確認した。

(3) 水稻ほ場（県内5か所）に設置した予察灯における斑点米カメムシ類成虫の6月第5半旬から第6半旬までの合計誘殺数は、弥富市で510頭（平年-頭*、前年33頭）と前年と比較して多く（15.5倍）、豊川市で169頭（平年81.0頭、前年39頭）と過去10年間と比較して最も多かった（図）。また、西尾市で143頭（平年44.2頭、前年17頭）と過去10年と比較して2番目に多かった。主な種は、弥富市ではカスミカメ類（アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ）、豊川市及び西尾市ではカスミカメ類（アカスジカスミカメ）であった。

*令和3年に調査地点を変更しているため、平年値なし

(4) 7月14日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月は、平年と同様に晴れの日が多く、平均気温は、平年並または高い確率ともに40%と予想され、本虫の発生に好適な条件が続く。

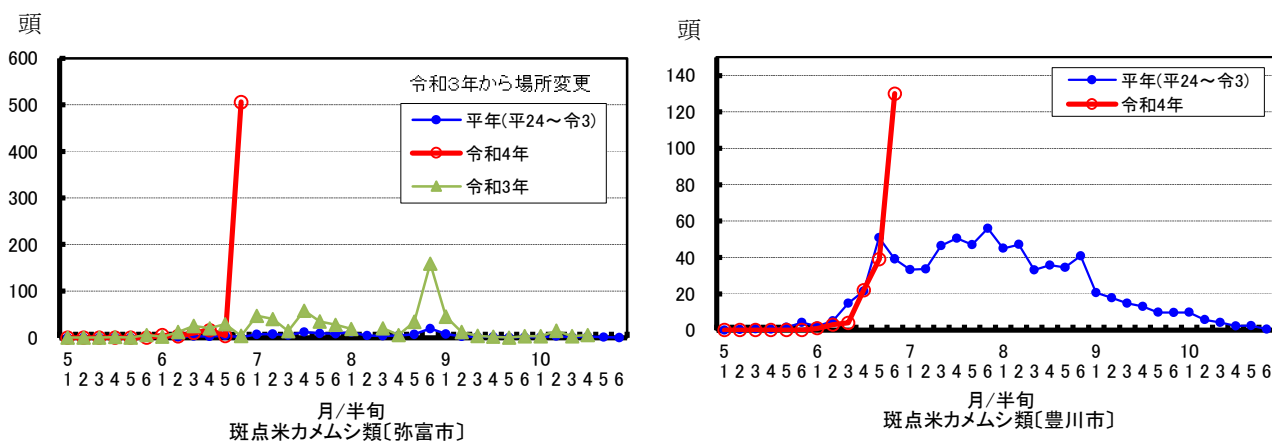


図 弥富市及び豊川市に設置した予察灯における斑点米カメムシ類の誘殺数